



2020年4月  
小松川信用金庫

## 小松川信用金庫がマスク1万枚を江戸川区に寄贈

小松川信用金庫（理事長：高橋桂治）は、新型コロナウイルスの感染拡大でマスクの不足が続くなか、江戸川区に本店を構える唯一の信用金庫として、区内の皆さまの少しでもお役に立ちたいとの思いから、江戸川区（斉藤区長）にマスク1万枚を寄贈しました。

高橋理事長が、23日に江戸川区役所を訪れ、マスク寄贈の目録を斉藤区長に手渡しました。

新型コロナウイルス感染の終息が見えないことに加え、マスク不足が続き、区内の皆さまが大変な不安を抱えている状況にあります。

今、当金庫として出来ること、あるいは望まれる社会貢献は何かと考えた高橋理事長が、金庫備蓄用マスクの提供を江戸川区に打診したことから、今回の寄贈が決まりました。

小松川信用金庫は、今後も地域社会の発展に貢献してまいります。

<お問い合わせ先>

小松川信用金庫 本部 経営企画部 TEL:03-3617-0549



2020年4月23日（木）江戸川区役所を訪問し、マスク1万枚を江戸川区に寄付をさせていただきました。

（写真に向かって右が高橋理事長、左が斉藤江戸川区長）



同日、斉藤江戸川区長から「感謝状」を頂戴いたしました。

2020年4月24日 東京新聞で江戸川区へのマスク寄贈が掲載  
されました。

## マスク1万枚寄贈

新型コロナウイルスの感染拡大でマスク不足が続く中、小松川信用金庫（本店・江戸川区平井）は23日、江戸川区にマスク1万枚を寄贈した。区では、具体的な提供先を検討している。

区内に本店がある唯一の信金として地域に貢献したいと、備蓄していた不織布マスクの提供を高橋桂治理事長が区に打診、寄贈が決まった。理事長が区役所を訪れ、マスクの入った段ボール箱の前で、斉藤猛区長に目録を手渡した。

「地域の金融機関として、区民の皆さまの少しでもお役に立ちたい。社会貢献

江戸川区に小松川信金

につながるのであれば幸い」と高橋理事長。斉藤区長は「区内の多くの施設が、マスク不足で困っている。区として3月に発注をしたが調達できていない状況。そのような中で、ご寄付いただき心より感謝を申し上げたい」と礼を述べた。（井上幸一）



マスクの入った段ボール箱の前で、目録を斉藤区長（左）に手渡す高橋理事長（右）江戸川区で